

## 「イノベーション探究Ⅰ」～地域再発見プログラム～第8回

### 1. 実施日

令和3年9月11日（土）1・2限

### 2. 場所

1棟多目的室、講堂

### 3. 対象

グローバル科1年生（6・7組）

### 4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 6組 山中 脩平・中村 啓介、7組 金本 瑞穂・矢野 和久

### 5. 内容

#### 構想発表会

#### (1) 全体説明

6組は1棟多目的室に、7組は講堂に集合し、本時の流れの確認、各チームが用意した発表資料をTeamsで共有する。進行表をもとに、発表担当の時間、発表を聴きに行く時間とそのチームを確認する。

#### (2) 発表と情報共有

発表5分、質問3分、移動2分の10分を1セットにして進行する。

1時間目は、自分のクラスの発表を聴き、2時間目は、他方のクラスの発表を聴く。発表者は、スライドや画像を用いて説明し、聴き手は発表資料を見ながら発表を聴く。質問時間には、質問だけではなく、意見や感想を話す。

#### (3) チーム内での情報共有、整理

1時間目と2時間目の最後に情報共有の時間を設け、チーム内で発表の成果や課題、受けた質問や意見、他チームの発表の感想などを共有する。

### 6. 学び

探究チーム全員が発表できるように役割分担したため、チーム内でチームテーマやリサーチクエスチョン、その経緯や今後の活動などの情報共有が行われていた。発表資料の形式を自由にしたため、画像やスライドなど、伝わりやすい発表を意識し、工夫していたチームが多かった。タブレットを使用することで、情報共有や資料作成、その活用がスムーズにできた。他者の視点で意見をもらうことで、矛盾している点や具体性に欠けていることなどに気づき、視野を広げることができた。

### 7. 次回への課題

発表資料に全ての情報を載せることで、発表では資料をただ読み上げるだけになっているチームがいくつか見受けられた。発表資料のアップロードやダウンロードに手間取った。次回からは、構想発表会での成果と課題を受けて、具体的な調査内容の検討、資料作成に取り組む。

### 8. 授業の振り返り

発表の場を設けることで、各チームで探究活動の整理し、新しい視点や課題を見つけることができた。